

北海道たび日記

日時: 前夜発 2024 年 7 月 6 日～9 日

メンバー: A 原(単独)

■7/5(金) お仕事を終えて羽田から新千歳に飛びました。新千歳には 22 時ごろ着。

レンタカーはいつもの〇〇レンタカー。今回の車はトヨタのパッツで私のレンタカー史上最高にボロい！傷やへこみがあるのもカーナビの矢印が空中飛んでいるのもいつものことなのだけど、今回は ETC の機械がブラブラぶら下がっていました。

ETC はオプション装備なのか、ETC の機械がハンドル付近に両面テープで貼ってあるのだけど粘着が劣化してときどきドサッと落ちます。かろうじて配線で繋がっているのですが、エンジンブレーキを踏むとき、それが邪魔になりました。4 日間借りて 14000 円は最高に安いけど相変わらずパンクな車だぜ。

さて、今晚は道の駅サーモンパーク千歳で車中泊。

雨が降っています。晴れ女を自認していたけど、明日からの北海道は全日傘マークがついていて山登りは期待薄なのです。この旅のために焚き火台も買って持参しましたが使えるかな。

まあ、ケセラセラなるようになるさ。

■7/6(土) 曇り空。風が強い。スマホの天気アプリを確認すると山も下界も大きな傘マーク。山に行くモチはありません。早々に中止決定。

さてどこ行こう。

雨の中、とりあえず南下します。青森方面は雲の割れ目から青空が見えて、いっそ船に乗って本州に戻ろうか、などと思ったりして。

いやいや現実を見つめよう。ならばウポポイでも見ようか、とも思いましたがまだ 8 時、営業時間まで待てません。

で、登別温泉で朝風呂です。夢元さざり湯という銭湯。熱くていいお湯でした。

次に向かうは積丹半島のウニ丼です。ランチ時間を過ぎてしまいウニは完売のお店が多くて、ウニといくとカニとの三食丼を食べました。

雨なのでテントを張る気にはなれずごはん付きの宿を探しますが、この時季に予約なしで泊まれるところはありませんでした。

積丹ブルーでなく、マイハートイズブルーです。しょぼぼん(´・ω・`)

明日の天気は望み薄ですが、雨竜沼湿原のハイキング、条件が良ければ南暑寒岳まで登ろう、と思い近くの道の駅で車中泊です。

明日は 4 時に起きて 5 時過ぎには歩き出そう。

それにしても車中泊は寝心地悪い。フラットにはならずいろんなところに何かしらを置いたり詰めたりしてフラット状態にしてもズルズルズレル。

ズレルたんびに起きて修正しつつでちーっとも寝られないよー。



■7/7(日) なのに寝坊。4時に起きるつもりが7時！熟睡してるじゃん、ジブン。

雨竜沼湿原登山口まではデコボコ道でクルマが壊れるんじゃないかとノロノロ運転。それをどンドンジモティー車が抜いていきます。

道端にはびしょぬれのキタキツネがいました。キリリとした目元でクールビューティ！

登山口の駐車場には結構な量の車とひと。協力金として500円払いました。

登山道は草が多く繁ってます。急な登りが1時間ほどあり、沢沿いの道を行くと視界が開けて雨竜沼湿原の一端に出ました。ガスの白と湿原の緑が幽玄な雰囲気醸しています。

木道を行くと展望台のような人工物がぼんやり見えます。近づくとまさに展望台でしたが展望はありません。(´ω´)

静寂のテラスでイクラのおにぎりをほおぼっているとなんとなくガスが晴れてきました。おお！

緑の湿原の中を沢が蛇行しています。小さな池塘が点在し、水面には蓮や水草があります。水鳥がついばんでいました。

湿原を周遊できるルートは橋が壊れているため行き止まりになっていました。

ガスが流れ視界が出てきたりしますが山やまは見えませんでした。ときどき霧雨を感じるので雨傘を出しました。

にぎやかな団体パーティが来たのを機に湿原を後にしました。

南暑寒岳登山は次の機会に。

登山口に戻り、南暑寒荘をのぞいてみました。南暑寒荘はフローリングにテレビ、台所にはIHコンロや鍋などがありとても快適そうです。ここが無料とは！ここで暮らしたい。

雨が本格的に降り出してきました。

味噌ラーメンを食べて白銀荘に向かいます。白銀荘は今日と明日の2泊予約済みです。

白銀荘に着くと今までがウソのように青空が見え前十勝の噴煙も見えました。

自炊場ではバイクで静岡から来られたトラン女子と仲良くなり、彼女から富良野にある「まるます」という焼肉屋さんが超おいしいという情報をいただきました。

夜、露天風呂で夜空を見上げ星を数えました。明日は天気いいかな。



■7/8(月) 昨夜は星空だったのに起きたらどんより曇り。山は見えません。

今晚も白銀荘泊りなので、ここベースで歩けるところということで美瑛岳をめざします。

望岳台を出発。山はガスがかかって見えません。登山者はいますが、ほとんどが十勝岳へ向かって美瑛岳に向かう人はいません。

美瑛岳への分岐を見落とし途中で軌道修正。道は木や葉が覆い繁っていました。前も後ろも人がいなくて、クマが怖くてときどきホイッスルを吹きながら歩きました。

雨粒が落ちてきて、やがて雨の線も太くなりカッパを羽織りズボンも履きました。

「こんな山行は楽しくないな」「でももうちょっと歩こうかな」「歩いたところで何も見えないよ」「でもせっかくだし」私の脳内では天使と悪魔が言いあいっこをしています。

「じゃあさ、せめて雲ノ平まで行こうよ」「そうね、雲ノ平って名前もいいしね」と折衷案が採用されました。

果たして行ってもなにも見えませんでした。

さあ、帰ろう帰ろう。下山を開始しましたが、これから登るパーティといくつもすれ違いました。ジブンって水にはめっぽう弱い水溶性山屋なのね。

時間はまだ10時前。宿に戻ってひと風呂浴びて、昨日トレラン女子に教えてもらった焼肉屋さんに行こう。

富良野の焼肉屋さんは20分ほど待って入店。7種類のお肉を七輪で焼く「満喫プレミアム定食」2,300円をいただきました。まいう～。

おなかを満たしたら次はメロン農家に行って食後のデザートです。さらに今晚のつまみ用に採れたてトウモロコシをげっちゅ。

食べてばっかりだなあ。



■7/9(火)「はじまりはいつも雨」って ASKA でしたっけ？

山は「かえる日はいつも晴れ」があるあるだよなあ。ちっ。4日目で初めての青空です。くーっ。

朝風呂に浸かりながら今日の行程を考えます。

帰る日だしサクッと三段山ピストンして、それから青い池行って、美味しいパン屋さんにも行こうかしら、などと考えました。

そしたら白銀荘のフロントの人から「今日は十勝岳びよりですよ、ぜひ行ってみては！」と言われました。だらだらした日々で終わらせていいのかい？と神様から試されているような気がしました。

白銀荘のフロントのおじさんが神様に見えた一瞬でした。

「行ってみるか」

今日も望岳台に車を置きスタートです。今日は美瑛も十勝もはっきりすっきり見えます。

雪の時期に見えた白をまとった山やまは、いま、緑だったり黒々としていたりいろんな顔を見せてくれます。

草木も生えないような火山の道でした。行ったことないけど火星もこんな感じなのかな。

深い谷筋にはへばりつくように汚れちまった雪がありました。気温差で蒸気があがっています。

ゴロゴロ石を越えていくと頂上でした。ゴツゴツの岩だらけの中に十勝岳の標柱がありました。小さなハエのような虫がたくさんいて辟易。逃げるように山頂を後にしました。

下りは早い早い。じゃりじゃりの道に足を取られながら、ゴツゴツの道で膝を痛めないように歩きました。

12時に望岳台到着。

白銀荘に戻って、「十勝岳行ってきました」と下山報告したら「そうですか早かったですね、よかったですよ」と神様が笑ってくれました。



ひとつ風呂浴びてホッとしたのと同時に帰りの飛行機 AIRDO から欠航のメールが来ました。またかよ。

一ヶ月前の九州山行でも帰りの便が欠航したのです。振替えの便の手続きをし、つくづく飛行機運の悪い自分を嘆きました。

新千歳空港に向かう途中から雨に遭いました。山で降られなくてよかった。

「帰る日はいつも晴れ、ときどき雨もある」です。

やり残していたことがありました。そうです、回転寿司に行っていませんでした。

ということで岩見沢のとっぴ〜でひとり打上げです。平日の夕方でお客さんは私だけ。客 1<板前さん 4 贅沢です。

無事、空港に着き手続きを済ませ、最後の最後にラーメン&ビールで4日間の旅を締めました。

19:55 発予定の飛行機が30分遅れて発ち、ぎりぎり終電に間にあって自宅に帰還しました。ふう。

梅雨のない北海道と言われますが、結局4日とも雨に降られました。当初行きたいお山のオプタテシケとアポイ岳も早々にあきらめ、テントも焚き火台も持参しましたが結局、使わずでした。はは・・・。

天気には恵まれませんでした。温泉とグルメののんびりひとり旅を満喫しました。

北海道に限らないけど、旅をすると日々の時間軸とは違う時間軸のなかでの過ごし方やひととの交流がココロの癒しやリフレッシュになりますね。

日常生活に戻ると、その時間がとても懐かしくて温かくて気持ちのいい遠い日のことのように思います。楽しかったな〜。また旅に出かけたくなっちゃいます。

【コースタイム】

7/6(土) 温泉とウニとドライブ旅

7/7(日) 9:30 雨竜沼湿原登山口ー10:55 雨竜沼湿原 11:55ー12:52 雨竜沼湿原登山口

7/8(月) 6:40 望岳台ー8:15 雲の平ー9:15 望岳台

7/9(火) 7:40 望岳台ー10:10 十勝岳 10:26ー12:00 望岳台

おしまい